

部分出向について

2021年7月28日



WORLD
HOLDINGS

JW SOLUTION

- 1. 部分出向（兼務出向）についてご理解いただく**
- 2. 今後の新型コロナウイルス感染症からの回復期に向けて
貴社の人材活用にお役立ていただく**

1

部分出向
(兼務出向) とは

在籍型出 向とは？

A社（出向元）に在籍しながら、B社（出向先）で勤務し、出向期間が終わると再びA社に戻り勤務することです。

部分出向と は？

A社に在籍し、A社で勤務しながら、B社でも勤務することです。「兼務出向」ともいわれます。

<例>

- ① 週末だけA社で他はB社で勤務する
- ② 月始めと月末のみA社で他はB社で勤務する

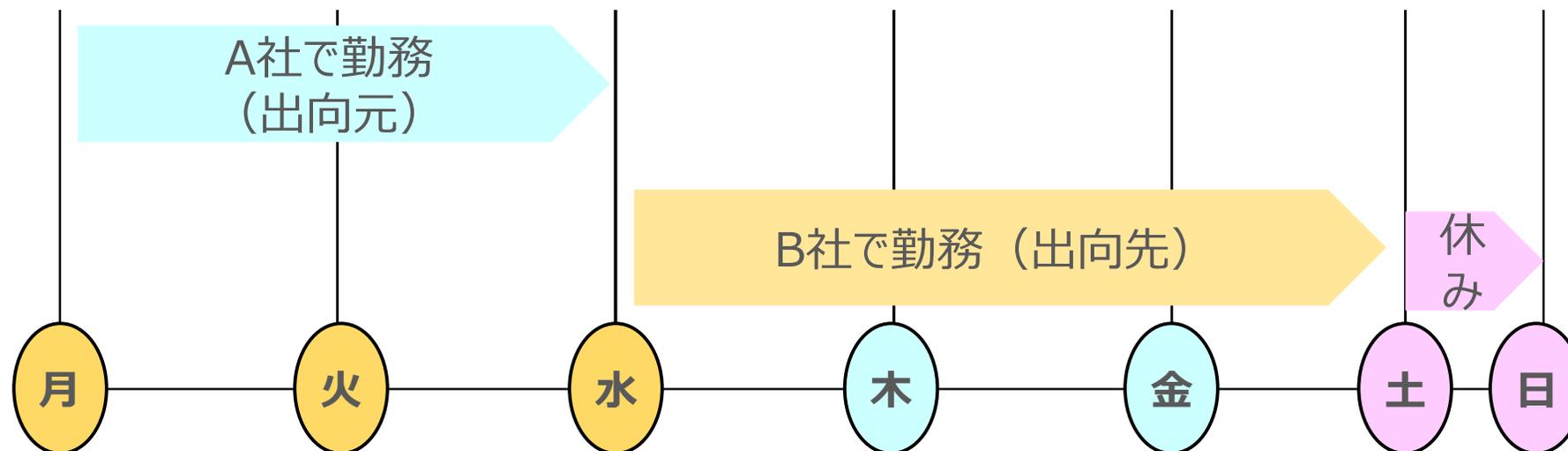
このように、**勤務日一部分のみ**の出向をいいます。



■ 部分出向のイメージ 1 (週内で曜日単位で区切り勤務を行うケース)

月曜日、火曜日はA社（出向元）で勤務し、
水曜日～金曜日はB社（出向先）で勤務する。

1週間（曜日）の中で繁忙・通常・閑散が存在する業種だと
部分出向のメリットがでやすくなります。



■ 部分出向のイメージ 2 (月内で月末月初等の区切りで調整し勤務を行うケース)

繁忙期の月末月初はA社(出向元)で勤務し、
月の中旬はB社(出向先)で勤務する。

日	月	火	水	木	金	土
						1
						A社
2	3	4	5	6	7	8
A社で勤務(出向元)				B社で勤務(出向先)		
9	10	11	12	13	14	15
B社で勤務(出向先)						
16	17	18	19	20	21	22
B社で勤務(出向先)						
23	24	25	26	27	28	29
B社で勤務(出向先)					A社で勤務(出向元)	
30	31					
A社で勤務(出向元)						

2

部分出向の
メリットと留意点

出向元のメリット



■ 出向元

- ・一時的な人材余剰に対応可能
- ・離職を防ぐことができる
- ・繁忙と閑散の時期が週単位、月単位、年間単位の特定の期間で流動的な場合でも人材シェアが可能
- ・社員のモチベーション維持、キャリア形成に役立つ
- ・地域の会社、人とのつながりを持つことができる
- ・人件費の負担軽減

出向先のメリット



■ 出向先

- ・一時的な労働力不足に対して即戦力の人材を活用できる
- ・採用コストをかけずに人材を獲得できる
- ・繁忙と閑散の時期が週単位、月単位、年間単位の特定の期間で流動的な場合でも人材シェアが可能
- ・社員のモチベーション維持、キャリア形成に役立つ
- ・地域の会社、人とのつながりを持つことができる



留意点

- 過重労働になるおそれがあるため、出向元と出向先の双方で労働日数・労働時間の通算管理が必要であること
 - 産業雇用安定助成金を活用する場合
 - ・ 出向先で勤務を行う日と同一日に出向元において勤務を行わないこと
 - ・ 1 か月ごとの出向先で勤務する日数が出向元において出向前の1か月の所定労働日数の半分以上であること。
- 例→元々の所定労働日数が20日の場合、11日以上の勤務が出向先で必要。